

## RIST30周年の思い出

RIST幹事  
平田機工(株) 事業本部デバイスセンター長兼ロボット部長  
平川 武則



くまもと技術革新・融合研究会(RIST)30周年を祝し、心よりお喜び申し上げます。

私とRISTとの出会いは、二十数年前にさかのぼります。当時、弊社で製作した機械で多くの構造的な不具合が発生しておりました。手計算で行うことが通常であり、コンピュータによる解析技術は皆無でありました。当時、弊社会長の平田より「電応研に行って、東町博士に解析のいろはを教わってきなさい」という指示をいただき訪問したのが始まりです(1988年頃)。節点、ベクトル、行列計算等訳の分からない言葉に戸惑った思い出があります。しばらくしてRISTで有限要素法(解析手法)の勉強会を行っているとのことで参加を進められ入会いたしました。会社の勤務が終わった後に、熊本大学工学部研究棟の講義室での検討会に参加し知識を蓄えさせていただきました。夜学的な存在でありました。

産学官の共同研究を経て2005年に技術検討会にて蓄えた知識と、ネットワークによるご支援を基に、弊社で初の解析グループを立ち上げることができました。おかげ様で社内での稟議の際は、会長の一発承認を頂きましたが、思い立ってすでに17年の月日が経っておりました。

現在、解析グループは、構造、機構、熱流体、物流シミュレーションへの対応も可能となり、産業用ロ

ボット、製造装置開発においては、欠かせない存在にまで成長しており、発足以来商品化への要となる重要な部署として活躍しております。RISTとの出会い無くして現状の解析グループは無く、存在の重要性を今更ながらしみじみと感じる次第です。RISTが地元であり、長きにわたり産学官の衆知を集める場であったことが、今回の成果につながったと確信しております。また現在も解析メンバーを中心にRISTの活動に参画させていただいております。

これまでの経過の中で、産業界は大きな変革を続けており、弊社内で解析グループを立ち上げたこともすでに、過去の出来事となってきました。IoT(様々なものがインターネットで接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み)にて、集められた膨大な情報よりAI(人工知能)によって新たな判断が行われる社会がさらに拡大してまいります。よって、人に高い判断力を求められることが加速いたします。RISTにおきましては、AIが不得意とするクリエイティブで、人の気持ちを汲み取れる血の通った組織として、今後も地域に根付き産学官の中心として拡大していただきたいと思っております。

くまもと技術革新・融合研究会(RIST)及び関係各位の今後一層の活躍とご発展を祈念いたしております。